

2018年9月5日

Classi 株式会社
代表取締役社長 山崎 昌樹

Classi が長野県内の公立高校で ICT を活用した 生徒の“効果的な学び”と教員の“働き方改革”を支援 ～11校 88クラスの生徒約 3,500人を対象に、 eポートフォリオとアダプティブラーニングの実践研究がスタート～

株式会社ベネッセホールディングスとソフトバンク株式会社の合併会社である Classi（クラッシー）株式会社は、国内最大級の学習支援プラットフォーム「Classi」と「Classi ポートフォリオ」を活用し、長野県教育委員会の「次世代型学習支援システムを活用した実践研究事業」への支援を開始したことをお知らせします。

本研究は、2020年度からスタートする大学入試・教育改革を見据えて、ICTを積極的に活用した生徒の“新たな効果的な学び”と、生徒への指導内容・方法を研究するものです。加えて、校務にICTを活用することで、教員の“働き方改革”の実現や教育的効果・費用対効果の測定を行うなど、全国的にも先進的な取り組みとなります。

本研究は、2018年4月に長野県内の公立高等学校（対象校：11校 88クラス※1）に入学した新1年生を中心に、生徒 3,513人を対象にしています。



▲長野県内の教員を対象に開催された事業説明会の様子

※1 飯山高等学校、屋代高等学校、上田染谷丘高等学校、野沢南高等学校、諏訪清陵高等学校、伊那弥生ヶ丘高等学校、飯田高等学校、木曽青峰高等学校、松本県ヶ丘高等学校、穂高商業高等学校、大町岳陽高等学校

■長野県による実践研究の内容と「Classi」の活用方法

今回、長野県が下記の3分野において実践研究を行う中で、当社の「Classi」および「Classiポートフォリオ」を活用します。

1. eポートフォリオによる生徒の学習記録などの蓄積

<eポートフォリオ分野>

生徒が日々の学校生活の中で得た、さまざまな学びや気づきを、スマートフォンやタブレット、パソコンなどから「Classiポートフォリオ」に記録し、振り返りを行いながら、生徒の“主体的な学ぶ力”を育成していきます。さらに、多面的・総合的に評価する選抜方式へと大きく転換する、2020年度大学入試に向けて、eポートフォリオを活用した、生徒への効果的な指導内容・方法を研究します。

2. 学習用デジタル・コンテンツの提供による学習支援

<アダプティブラーニング分野>

「Classi」の学習動画機能を活用して、反転学習と呼ばれるICTを活用した学校教育と家庭学習の連携や、授業前後の学習の拡充について研究します。さらに、生徒一人ひとりの学習習熟度に応じた、デジタル学習コンテンツの提供や、多様な学習記録を蓄積できるICTならではのメリットを生かした、エビデンスに基づく効果的な学習方法・指導方法の検証などを行う予定です。

3. 校務系システムの実証利用と学習系システム（eポートフォリオ）との連携

<高大接続改革&教員の働き方改革分野>

統合型校務支援システムを導入し、電子化された校務系データと「Classiポートフォリオ」の学習データなどを連携することで、さらなる“学びの可視化”を図り、高大接続改革への対応が研究します。加えて、教員の“働き方改革”を推進する目的で、校務のICT化による業務の整理と効率化を図っていきます。



Classi どうですか？

4月9日にIDとパスワードを発行され、使い始めたClassiですが、どうですか？
以前、Classiを使っている学校が高まる会議で、「いや〜弊校もClassi使ってますよ〜」と言われたもの、担当としては「そうかな？」という思いがあります。使っている人は使っていますが、そうでない人は1万円相当のたっさりではないでしょうか。皆さんのClassiは「標準パック」と「問題集パック」合わせて1万円相当のもので、それを皆さんは「無料」で使えるのです。こんなにいい話はありません。ガンガン使ってみましょう。こういうものは使ったもん勝ちです。

今までに配信されているもの（金クラス対象）

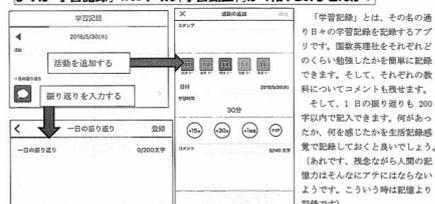
- 英語科より、\$W40を分かりやすく確認できる小テスト。
- 先生（数学科）より、1学期中間考査の範囲。
- 1学期中間考査振り返りアンケート（回答期限は6月1日）。

これから配信されるもの（既に決まっているもの）

- 6月以降毎月1日の午前8時 進研模試スタディーサポートの予習（復習）パック
- 8月：スタディーサポート復習テスト 7月：進研模試対策テスト
- 8月：長期休暇コース（動画） 9月：スタディーサポート復習テスト
- 11月：進研模試対策テスト 12月：長期休暇コース（動画） 1月：進研模試対策テスト
- テストごとに振り返りアンケートを配信します。
- 英語科より事あるごとに小テストが配信されます。
- 部活記録をClassiにしてみようとお金でいる部活もあるのかなど・・・。

3年後、東京オリンピックが終わった後に皆さんは進路選択の秋を迎えます。その時に求められることは、「高校生で自分は何をしてきたか」を踏まえ、「高校生に必要な学力」を備えていることです。その2点を育てていくためのアイテムとしてClassiの導入を決めました。以下の2点、お願いします。
・「学習記録」（もっと言えば「eポートフォリオ」）に、日々の記録（メモ）を積み重ねていくだけでも、3年後に自分の高校生生活振り返り十分な材料になります。材料がなければ、自分をアピールすることもできません。何でもいいので、記録しましょう。
・スマホ・タブレットを持っているが知らない人は、iPhoneやiPadを使ってはいけません。彼は、「点と点を接すれば、線になる。すなわち、バラバラの経験であっても将来それが何らかの形につながる」と言っています。その意とは？
・学習系のアプリを活用し、自ら学習する姿勢を身につけましょう。学校の勉強だけで順に入り、勉強が出来るようになるのがいいとは思いません。いかに家庭学習を自らするかが、成績アップの肝はこのことです。それが皆さんの進路選択の幅を広げてくれることでしょう。
Classiをめんどうアプリだと思わず、ぜひ高校生活のお供に有効活用してほしいと思います。

まずは「学習記録」「Webドリル（学習動画）」から使ってみませんか？



「学習記録」とは、その名の通り日々の学習記録を記録するアプリです。国数英理社をそれぞれのくわい勉強したかを簡単に記録できます。そして、それぞれの教科についてコメントも残せます。そして、1日目の振り返りも300字以内で記入できます。何が思ったか、何を感じたかを生活記録感覚で記録しておくといいでしょう。（あれです、残念ながら人間の記憶力はそんなにアリアにはならないようです。こういう時は記憶より記録です）



「Webドリル」とは、その名の通りWeb上のドリルのことです。30,000問近い問題が収録されています。この中から皆さんは自由に問題をランダムで解くことが出来ます。高校の内容はもちろん、中学校の学び直しでもできます。間違えた問題は自動的に蓄積され、それだけ解くこともできます。問題数も自分で設定できるので、スキマ時間を使って、苦手克服が出来ます。（うちやましい・・・）



「学習動画」も使えます。幅広いジャンルの動画が用意されています。様々な動画があるので、細かい分野に特化することもできます。ここでも、皆さんのテストを分析した皆さん専用の音声を収録した動画が用意されています。動画を見た際には、小テストも用意されているので学習理解度確認のサイクルが生まれます。（やっぱりうちやましい・・・）

▲「Classi」の活用浸透施策として、生徒へ発行された「お便り」（提供元：野沢南高等学校）

■「Classi」で広がる学びの可能性

長野県では、「Classi」を活用した指導改善や、「Classi ポートフォリオ」への学校行事の記録蓄積など、事業対象校が各校の研究内容に沿った実践を進めています。今後も Classi は、企業ビジョンである「新しい学びが広がる未来のプラットフォームを創る」を基に、今回の長野県での取り組みをはじめとして、データテクノロジーを活用した、子供たち一人ひとりが主体的に、学ぶ意欲と学び続ける力を育むサービスを提供し、全国の学校教育を強かに支援していきます。

▼「Classi」について

「Classi」は、学校の授業・生徒指導、生徒の学習において、先生・生徒・保護者がつながる、国内最大級の学習支援プラットフォームです。全国の高校の4割超（2,100校以上）、80万人以上の生徒が利用し、学校のICT化を多角的にサポートしています（2017年12月末現在）。

「Classi ポートフォリオ」は、生徒が使い慣れたスマートフォンやタブレットで、学校生活の中で得た日々の学びや気付きを記録したり、校内テストや進研模試などの外部テストの結果や先生や友人からのフィードバックなどの生徒に関するあらゆる記録を一元管理し、振り返りを行ったりすることができます。今後の大学入試で必要となる学習記録データ（eポートフォリオ）の蓄積や高大接続ポータルサイト「JAPAN e-portfolio」との連携にとどまらず、生徒の“主体的に学ぶ力”を育成していきます。

▼Classi 株式会社について <https://classi.jp/>

所在地：東京都新宿区西新宿 2-1-1 新宿三井ビルディング 14 階

設立：2014年4月

代表者：代表取締役社長 山崎 昌樹

代表取締役副社長 加藤 理啓

株主：株式会社ベネッセホールディングス、ソフトバンク株式会社

事業内容：学校教育における ICT 活用の推進